

奈良県における土地の生産性を高める土地利用の取組について ～「農業生産性拡大」と「地域経済の発展」に資する土地の利活用～

【担当省庁】国土交通省、農林水産省

1. 基本的考え方

- 奈良県が目指すのは、「**土地の生産性を高める土地利用**」。
- しかし、**奈良県農業**は、生産額や面積規模の小さい農家が多く、後継者の確保も低調で**耕作放棄地が多い**などの課題がある。
- これを改善すべく、「**農業生産性拡大**」とともに「**地域経済の発展**」に資する**土地の利活用の手法**について検討に着手したところ。

3. 国にお願いしたいこと

- 奈良県の土地の生産性を高める取組に対し**ご助言、ご指導**を、お願いしたい。

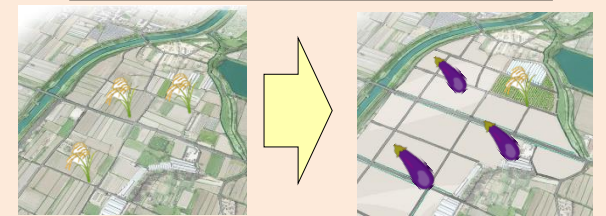
【県担当部局】地域デザイン推進局 県土地利用政策室
食と農の振興部 担い手・農地マネジメント課

2. 具体の取組例

特定農業振興ゾーンの拡大

- 農地の生産性を高めるため、**高収益作物**への転換や関連施策を集中的かつ優先的に推進する区域を設定⇒現在、**1市3町の6地区**で設定済
- 令和2年度に新たなゾーン設定を予定

■圃場整備(区画の大規模化)



■機械・施設の整備等

スマート農業の導入支援で省力化推進

- イチゴ栽培施設での環境制御 
- 小型多機能ロボット (導入予定)  

作業者を自動で追従し、農作物の運搬作業を軽減
農薬噴霧器も取り付け、作業可能

本県の農地は耕作放棄地が多く生産性が低い

- 効率の悪い農地をプロジェクト用地として活用。
- 農地は縮小するが、特定農業振興ゾーンにより農業生産性(農業生産額)は従前を上回る。



農業生産性の向上

- **高収益作物への転換**



例：ハウレンソウ栽培施設

大和平野中央プロジェクト

- 農地が広がっている当地域において、一団の土地を取得してプロジェクト用地を創出

- プロジェクト用地において、
 - ・県立大学理工系学部の設置
 - ・国体関係運動施設の整備
 - ・研究所・工業ゾーンの整備
 - ・データセンター等の地域デジタルサービス拠点の整備
 などを検討

- 地元が4候補地を提案 (田原本町2地区、三宅町1地区、川西町1地区)

データセンターイメージ
大学イメージ
研究所・工業ゾーンイメージ
運動公園イメージ

大和平野
大和平野中央プロジェクト
売電
関西電力
五條・宇陀ハイオマス発電

(参考)

奈良県における土地利用についての意見交換等

○奈良県・市町村長サミットの開催（第1回：8月19日、第2回：11月13日）

知事と市町村長が「奈良県の土地利用とまちづくり」というテーマで集中的に議論。

～首長から出た主な意見～

- ・大和平野中央の農地が広がっている地域では、担い手の高齢化や耕作放棄地の増加が生じている。
- ・1つの地域で完結させるまちづくりは時代に合わない。複数の自治体を併せた形でゾーニングしなければならない。



養原氏の講演



意見交換の様子

○地域フォーラムの開催（令和2年度～令和3年度）

県内を11の地域に分け、住民参加のもと、知事・市町村長が土地利用のあり方や具体のまちづくりプロジェクトの進め方について意見交換を行う。

～首長・住民から出た主な意見(10月11日)～

- ・特定農業振興ゾーンを県と一緒に設置し、農業生産の高収益作物への転換を図っている。新規就農者数も増えてきており、今後は農作物の輸出もやっていきたい。
- ・土地利用についての理解を得るためには住民との対話を重ねていくことが重要。



フォーラムの様子

○「奈良県土地利用に関する懇談会」（令和元年度～）

都市計画、農地、森林等の各分野の有識者に参画いただき、奈良県の土地利用の方向性や具体策についてご議論をいただく。(座長：養原敬氏)

～有識者から出た主な意見(2月27日)～

- ・農地法には矛盾がある。所有と使用を分離し、利用・管理・活用の仕組みの構築が必要。
- ・マスタープラン型の時代は終わった。これからの時代に合わせていく視点が必要。
- ・既存制度を白紙にしたつもりで考えるべき。

＜奈良県土地利用に関する懇談会：有識者＞50音順

栢原英郎 元国土庁計画・調整局計画官

北村喜宣 上智大学法科大学院教授

黒田慶子 日本森林学会会長 / 神戸大学大学院農学研究科教授

高木勇樹 NPO法人日本プロ農業総合支援機構理事長 (元農林水産省事務次官)

竹歳 誠 (公財)都市計画協会会長 (元国土交通省事務次官、元内閣官房副長官)

田中淳夫 森林ジャーナリスト

福井 照 衆議院議員(自由民主党)

藤田達生 三重大学大学院教授

水谷知生 奈良県立大学地域創造学部教授

養原 敬 (株)養原計画事務所主宰/都市プランナー

森地 茂 政策研究大学院大学教授



懇談会の様子